

令和6年度都立東大和高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	○4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ○日本文化に親しむための文化的取組 ○「話し合うこと」の指導に関する言語活動に関する科内研修の実施	○校内の短歌コンテスト・ビブリオバトルの開催 ○学年別百人一首大会の開催 ○オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発
地歴公民	「社会的な見方・考え方」を培う指導の充実。	・資料活用、対話的/協働的活動により、考察する力を培う。 ・言語活動の充実をはかり、表現力の育成に努める。	・生徒の成果物をもとに「指導と評価の一体化」の実現に努める。 ・多面的・多角的な物の見方を培うため、問いの精選に努める。 ・現代の諸課題について、主体的に解決しようとする態度を養う。
数学	数学を活用して事象を論理的に考察する活動	・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する活動を重視した授業を実施 ・問題解決において論理的に考察する活動に関する科内研修	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	基礎基本の充実と科学的なものの見方の育成	・小テストやアクティブラーニングなど、アウトプットの機会を多く設けて、実用レベルに引き上げる。 ・実験やICT機器の活用、スタディサブリの活用の提示など、多面的な学習の機会の提供を行う。生徒には、一人一台端末を積極的に活用させる。	・授業の相互観察を実施し、指導方法の改良を図る。 ・模擬試験の分析をし、生徒の学習課題を検討する。
保健体育	・体力の向上 ・健康の増進 ・スポーツの振興	・体力テスト全都1位を目指す。 ・生活習慣病や保健衛生、環境について考え、将来を見据えて行動できる人材の育成。	・体力のさらなる向上に向け、科学的根拠に基づいたトレーニングを行う。 ・健全な心身を育むことのできる、環境の充実と、教材の開発 ・部活動を活性化し、スポーツを生涯楽しむことのできる土台を作る。
芸術	実技を補完する知識を充実させる	・実技の授業だけではなく、幅広い知識や、鑑賞により先達の作品に触れることにより、生徒のより深い芸術への理解を促すことで実技面の上達を引き出せるよう実施する。	・広く浅く取り組むのではなく、生徒が特に関心を示した活動にはより深い取り組みが出来る課題を準備し実施する。
英語	「読むこと」「聞くこと」「書くこと」「話すこと」の指導の充実	・各科目、学期ごとに1回パフォーマンステストを実施。「話すこと」の活動を増加。 ・各授業で、リスニング、速読教材を用いて指導を実施。 ・文法事項の基礎力を養成し、表現力を定着。	・TGG後に体験に基づくスピーチ活動を強化。 ・入試対策に向けて、リスニングとリーディングの指導を実施。 ・英検等の外部試験の指導を重点強化。
家庭	実践力の定着を図るための学習活動の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・実習や一人1台端末を活用した調べ学習など、実践力を養う教材の開発	・実習や一人1台端末を活用した調べ学習など、実践力を養う授業の実施
情報	問題解決につなげる実習の充実	・教科書選定時に、問題解決や協働学習を多く掲載しているものを選定 ・データ活用でグループによる探求的な学習を実施 ・授業ごとにワークシートを提出させ、理解度を把握する	・プログラミングではアプリケーション開発を実施